

●～親と子のふれあいクラシックコンサート～●
関西フィルハーモニー管弦楽団演奏会

Profile

● 指揮者 木下 麻由加 Mayuka Kinoshita, Conductor



(c) Ayane Shindo

2010年神戸大学発達科学部人間表現学科卒業。スカンジナビア・ニッポン・ササカワ財団より助成を受け、デンマークに留学。2014年デンマーク王立音楽アカデミー指揮科卒業。

2012年及び2013年ウクライナ国際マスタークラス修了。修了演奏会にてチェルニーゴフフィルハーモニー交響楽団を指揮し、ロシア音楽奨励賞を受賞。

2019年公益財団法人山田貞夫音楽財団指揮者オーディションにて、山田貞夫音楽賞、特選、聴衆賞を受賞。受賞者演奏会にてセントラル愛知交響楽団を指揮。第14回橋本市文化奨励賞受賞(和歌山県)。

現在複数のオーケストラ、オペラ団体、吹奏楽団、弦楽合奏団の客演指揮及び合奏トレーナー、副指揮を務める。また、C. Nielsenを中心とする北欧作曲家の研究をおこなっている。

指揮を斎田好男、高谷光信、J. Fuglebæk、N. Sukaci、P. Larsen、ピアノを木下千代、伴奏法をN. Gade、作曲法をA. Brødsgård、音楽理論をG. Larsen各氏に師事。

● 関西フィルハーモニー管弦楽団 Kansai Philharmonic Orchestra



(c) s.yamamoto

1970年発足。1982年関西フィルハーモニー管弦楽団として新発足。2018年公益財団法人化。関西を代表するオーケストラの一つとして文化的・社会的貢献を果たすため、積極的に活動を続けている。2020年には楽団創立50周年を迎えた。

世界的ヴァイオリニストでもあるオーギュスタン・デュメイは08年より首席客演指揮者を務め、11年1月より楽団初の音楽監督に就任。藤岡幸夫は00年より正指揮者を務め、07年4月より首席指揮者に就任。飯守泰次郎は01年より常任指揮者を務め、11年1月より桂冠名誉指揮者に就任。

人間の営みから生まれた音楽…『ヒューマニズム』をテーマに、聴衆の心に感動と勇気を伝えるべく活動を展開。2015年には東大阪市と「文化芸術のまち推進協定」を、2020年には門真市と「音楽と活気あふれるホームタウンパートナー協定」を結ぶなど、地元関西の人々や企業に育まれた楽団として地域密着を重視。演者と聴衆、舞台と客席、垣根を越えての交流を図り、関西出身の若手アーティストも積極的に起用している。クラシック音楽の裾野を広げる活動など、明確なビジョンを持ち、常に新たなことに挑戦する個性派オーケストラとして好評を博している。

2015年には、スイス・ドイツ・イタリアの3カ国5都市を巡る楽団初のヨーロッパツアーを開催し、各地で大きな注目を集めた。BSテレ東の音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」(毎週土曜朝8時半)に藤岡幸夫と共に出演中。

オフィシャル・ホームページ <http://www.kansaiphil.jp/>

Twitterアカウント @kansaiphil